



インターネットがつなげる仲間づくり

～シニアネットの広がりから～

本誌8月号で、パソコンこそ高齢者にとって、日々の生活をよりいきいきと豊かにしてくれる大きな道具であるとふれましたが、インターネットや電子メールを活用して、多くの人とのコミュニケーションを求める「シニアネット」の取り組みが広がっています。

今回は、この「シニアネット」がもたらす効果などについて触れてみたいと思います。

インターネットは、自宅に居ながらにして様々な情報が入手でき、また、電子メールは相手と直接連絡が取れない状態でも、伝えたいことを送信しておけば、後に送信先相手がその内容を確認し、時にはメッセージが返信されてきたりします。

しかし、このインターネットや電子メールをただの「連絡」のための道具とするだけでは、その機能を十分に生かしているとはいえません。その機能をもっと有効に生かし、多くの人々とコミュニケーションを図り、新たな仲間づくりを進める活動がインターネット上で行われています。とくに「シニアネット」などと呼ばれるものを始め、シニアの方を対象としたサイトも盛んになってきました。

その活動内容も、掲示板やメーリングリストなどの情報交換や、インターネットが縁で、直接顔をあわせる機会がある、また、もっと多くのシニアの方にパソコンを通した生きがいづくりや仲間づくりを進めてもらいたいと、パソコン教室を開催する活動も多くなってきています。

メーリングリストとは、ある会員の出した電子メールが他の会員に一斉に届くインターネットの機能を活用した情報交換の方法ですが、大

勢の人と話題を共有し、コミュニケーションを楽しむことが可能です。積極的に会話を楽しんだり、サークル活動などに参加する人もいれば、情報を受け取るだけの人など、その参加の程度は様々です。

また、インターネット上での関係が中心ですから、毎回顔を合わせる地域活動と違い、余計な気を遣う必要もなく、参加したい時に参加できればよいと考える人もいます。すると意外に近いところに住んでいることが分かることもあるそうです。

いずれにしても、このようなシニアネットなどに参加する方は、「どこかで人とつながっているんだ」という安心感や満足感をもたらせてくれるといいます。

ある方は「伴侶がなくなっても、地域にも全国にも仲間がいるから寂しくはない」と話してくれました。朝起きて、パソコンを立ち上げると、何通かメールが入ってくるだけでうれしくなるそうです。

加齢に伴い気軽に外に出られなくなった時、インターネットがつなげてくれた、「情報縁」の仲間は、「地域縁」の仲間とは違った、別の大きな心の支えとなっているようです。

センターからのお知らせ

第一回かながわシニア短歌大会 入賞作品決定

高齢者とその家族、また介護に携わる方、次代を担う中学生・高校生を対象に、日々の思いや感動、また直接伝えられないことなどを短歌にして募集しました。

今年度が初めての試みにも関わらず、一、〇六七名、一、九一七首と、多くの参加をいただきました。審査の結果、大賞（県知事賞）には、古川佳子さんの作品が、この他に優秀賞四点、佳作十二点、入選二十点が選ばれました。

また去る十月二十九日には、横浜情報文化センターで、入賞者の表彰式をはじめ、講演会などが盛大に行われました。

【大賞作品】

看護婦さん 先生 かあさんへル
パーの 吾ほどの名に今日は
呼ばれむ

このページに関するお問い合わせ

かながわ長寿社会開発センター

TEL 045-312-3111
FAX 045-312-3111
045-633-002



URL http://www.nenin.or.jp/kanagawa
E-mail tyoujyu@jinsyakyo.or.jp